

2025年7月号

Vol. 239

arch-tsushin

あーち通信



園田学園女子大学の実習へのご協力について

7月中旬～下旬にかけて、園田学園女子大学の看護学生が
あーちで実習を行います。

研究のために、利用者のみなさまへインタビューを
お願いすることがございますが、任意ですとお断り
頂いても差し支えありません。ご関心、お時間がござい
ましたら、学生たちへのご協力をお願いいたします。



～新しいプログラムが始まります～

<ギフテッド寺子屋 KOBÉ>

ギフテッドの子どものための居場所です。悩みや困りごとを
相談・共有したり、ゲームや遊びを通して自己や他者への理解
を深めたり、気の合う仲間と新しいプログラムを作ることもで
きます。保護者同士の情報交換・相談もできます。

日時:7月12日(土) 13:00～16:00

場所:ゆーす・あーち

▼▼▼▼▼ 絵本の世界へようこそ ▼▼▼▼▼

「なつのおとずれ」

作・絵:かがくい ひろし

PHP研究所 2008年5月発行



だるまちゃんシリーズの作者、かがくいひろしさんの絵本です。

「つゆあけはもうすぐでしょう」かたつむりさんの天気予報を聞
いて、太陽が夏の仲間知らせて。すいかさん、かぶとむしさ
ん、ひまわりさん、みんなは夏に向かって走り出しました。

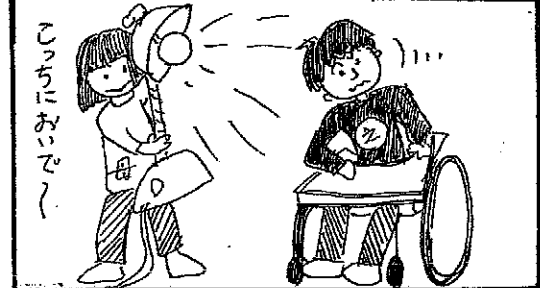
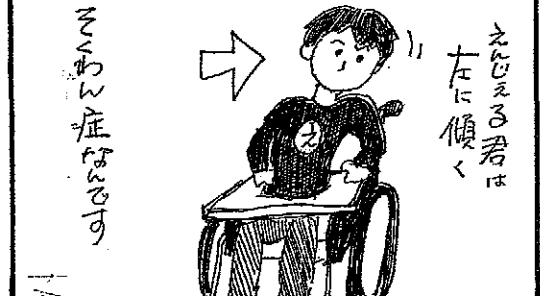
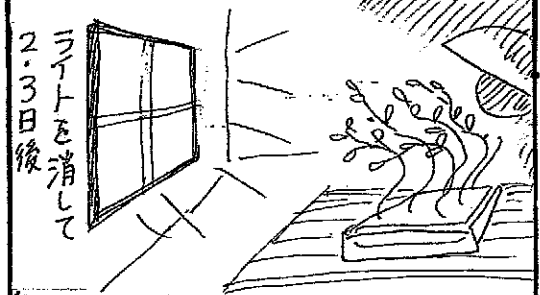
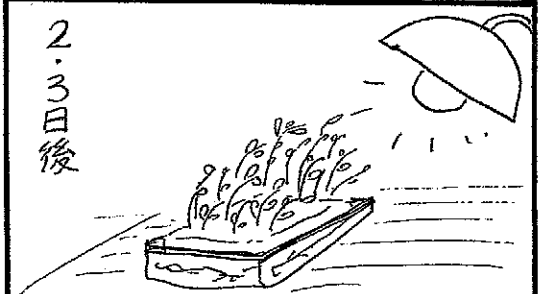
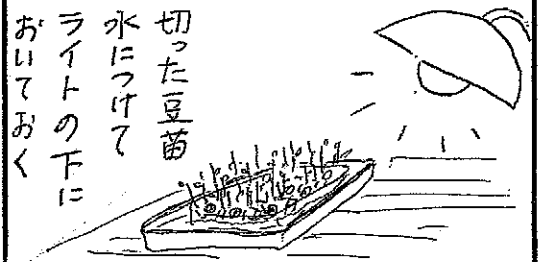
躍動感のある絵と、わっしょわっしょ、へっしょへっしょ、リズム
感のあることばは、読み手をまがしい季節へ誘います。そして、楽
しそうに走り出したみんなを待ち受けていたものは…。

昨今は酷暑続きですが、夏は楽しい季節だということを思い出
させてくれる一冊です。それでもやっぱり「ぼうしをわすれずに、
ねっちゅうしょうにはごちゅういください」かがくいさんの言葉を
添えて。

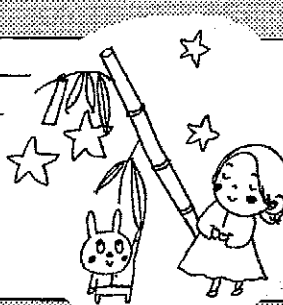
(あーちスタッフ 朝野)

えんじえる君Ⅱ by Bon

豆苗の成長も見習いたい



7月予定表

		こらぼ・あーち	ふらっと・あーち	
1	火	あーち人形劇団「むー」(練習) 14:00~16:00		
2	水	月イチwith 10:30~12:00		
3	木			
4	金	よる・あーち 17:00~19:20		
5	土	プラレール広場 10:30~16:00	あーちクローゼット 13:30~16:00 ※情報コーナー あらかると音楽あそび 14:30~15:00	
6	日	休 館		
7	月			
8	火			
9	水			
10	木			
11	金	よる・あーち 17:00~19:20		
12	土	いのちをつなぐイベント(準備会)10:30~12:00※ゆーす おはなしの国 11:00~11:30 ギフトテッド寺子屋KOBE 13:00~16:00 ※ゆーす		
13	日	休 館		
14	月			
15	火	あーち人形劇団「むー」(練習) 14:00~16:00	ふらっとリトミック 11:00~11:30	
16	水		保健師さんとお話ししましょう 11:00~12:00	
17	木		ベビーマッサージ 14:00~15:00	
18	金	よる・あーち 17:00~19:20		
19	土	プラレール広場 10:30~16:00		
20	日	休 館		
21	月			
22	火			
23	水			
24	木			
25	金	よる・あーち 17:00~19:20		
26	土	おもちゃ病院 13:00~15:30		
27	日	休 館		
28	月			
29	火			
30	水		ベビーマッサージ 11:00~12:00	
31	木			

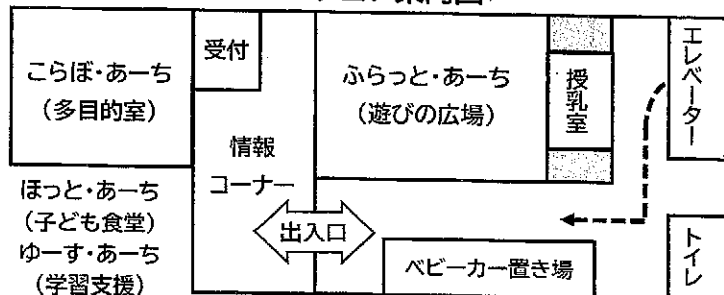
- ・プログラムは自由に参加・見学ができます。年齢制限はありません。また、都合により変更することがあります。
- ・ふらっと・あーちでプログラムが行なわれている間、プログラムに参加されない方もふらっとを利用できますが、遊べるスペースは狭くなります。どうぞご了承ください。

※ベビーマッサージに参加される方は、お子さんに合ったベビーオイルと、バスタオルを1枚お持ちください。

また、初めてあーちを利用される方は受付に10分ほどかかりますので、開始時刻より早めにご来館ください。

※リフレッシュYOGAに参加される方は、ヨガマットやバスタオルなどの敷物を1枚お持ちください。

<フロア案内図>



ふらっと相談員

～お気軽にお声がけください～

水曜 午前 保健師・保育士

水曜・木曜・土曜(不定期) 助産師

お電話でも相談できます



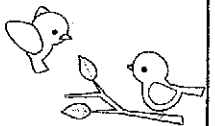
<プログラムのご案内>

- ★あーちクローゼット・・・こども服の交換会です。着なくなったお子さんの服をお持ちください。他の服と交換できます。持ち込みのみでもOKです。
- ★あーち人形劇団「むー」・・・あーちに來ているみなさんと、一緒に楽しく人形劇遊びをしませんか？それぞれ自分の好きなこと、できることを持ち寄って気軽に参加してください。
- ★あらかると音楽あそび・・・手作り紙芝居や大型絵本に、おもしろい音や音楽を合わせた楽しい音楽遊びです。
- ★おはなしの国・・・ろうそくが灯ったらおはなしの世界のはじまりです。(絵本の読み聞かせ)
- ★おもちゃ病院・・・ドクターが壊れたおもちゃを治します。(当日の修理はできません。)
※おもちゃ病院の情報は Facebook 神戸・灘おもちゃの病院 でご覧ください。
- ★ギフテッド寺子屋 KOBE・・・ギフテッドのこどものための居場所です。保護者同士の情報交換もできます。
- ★月イチwith・・・参加者それぞれの困りごとと悩みごとについて語り合い、お互いに元気を分かち合いましょ
- ★ふらっと リトミック・・・リズムを感じて自由に体を動かしましょう！赤ちゃんは抱っこでも参加できます。
- ★プラレール広場・・・広いマットの上で自由に電車遊びができます。(係員は不在です。)
- ★ベビーマッサージ・・・赤ちゃんをやさしくマッサージしながら、親子でふれあいの時間を楽しみましょう。
- ★よる・あーち・・・「居場所づくり」「学習支援」「子ども食堂」を一緒にしたプログラム。いろいろな年齢の参加者が交流し、学びあっています。

<あーち利用のご案内>

利用時間 火～土 10:30～16:00 (ランチタイム 12:00～12:45)
※ランチタイムの間は、おもちゃで遊ぶことはできません。
金曜日のみ 17:00～19:20 よる・あーち(居場所づくり・学習支援・子ども食堂)

注意事項 オムツやゴミは各自でお持ち帰りください。灘区民ホール内では捨てられません。
託児は行っていません。安全のため、お子さんの見守りをお願いします。
未就学のお子さんが遊ぶときには、保護者の付き添いが必要です。



私が勤めている大学の美術館では、北斎展を開催しています。この展示のメインを飾るのは、かの有名な『神奈川沖波裏』"The big wave off Kanagawa" です。他には喜多川歌麿、歌川国芳の浮世絵も展示されています。大人になって版画の工程を知ると、なんと細かく膨大な作業がされたのかと、ただただ驚くばかりです。この展示の中に、歌川国芳の「寄せ絵」があります。その絵の中に書かれている文章が興味深かったので調べてみると、『大ぜいの人によつてたかつてとおと(とうとう) いい人をこしらえた とかく人のことは人にしてもらわねば いい人にはならぬ』とあり、この意味は『人が成長し、一人前の「良い人」になるためには、多くの人の支えや影響が必要である。』でした。それをアメリカ人の友だちに話したところ、「英語のことわざにも似たものがあるよ。」と "It takes a village to raise a child." を教えてくれました。訳すと『子どもを一人育てるには、村全体が必要だ』つまり、子育ては一人でできるものではなく、地域社会全体の協力があってこそだ、という意味です。子どもを育てる、人を育てるまなざしに国の違いはないんですね。

(アメリカ イリノイ州在住 東口たまき)

神戸大学大学院サテライト施設「のびやかスペース あーち」
〒657-0832 神戸市灘区岸地通 1-1-1 灘区民ホール 3 階
TEL&FAX 078-805-6090
HP <http://www2.kobe-u.ac.jp/~zda/arch-prep.html>
開館日 火～土曜日(月曜、日・祝除く)

神戸大学大学院人間発達環境学研究科
ヒューマン・コミュニティ創成研究センター
〒657-8501 神戸市灘区鶴甲 3-11
TEL 078-803-7970
FAX 078-803-7971

かめのえんそく

●●●●●●● 最初のご挨拶 ●●●●●●●

これから隔月でこちらに投稿をさせていただくことになりました“あじさい”と申します。どうぞよろしくお願いしたいと思います。

コーナー名の「かめのえんそく」は、絵本作家の新沢としひこさん(作詞)と中川ひろたかさん(作曲)の「カメの遠足」という歌からきています。「のんびりいこう、のんびりいこう」というフレーズが繰り返されるこの歌が小さいころから好きで、中高生の通学時は、自転車を漕ぎながらよく歌っていました。間に合っていないテスト勉強に焦る自分に言い聞かせたり、人間関係でくよくよする自分を励ましたり。そして今も「のんびりいこう」は、くよくよ考えてしまう自分を一度肯定してくれる言葉であり、一つひとつゆっくりじっくり言葉にしていって行為へと繋がっているように思います。

私は、学生時代にあーちと出会い、その後は特別支援学校で働き、昨年から福祉施設の職員として働いています。自分の立場や働く場に変化はありましたが、「ともに生きる」って何なんだろう…という問いが自分の中にずっとある気がします。障害がある子どもたちをはじめたくさんの方と出会い、そして生まれている、色々な自分の思いや学びとともにあったり来たりしながら生きている気がします。このコーナーは、そんな私の日々の学びや葛藤の一つひとつを改めてのんびりと言葉にしてみたり捉え直したりする機会をいただいたと考えています。中々上手く表現できないかもしれませんが、どうか皆様ものんびりと読んでいただけたら幸いです。

●●●●●●● 久しぶりのあーち ●●●●●●●

転職や引っ越しなどライフスタイルに変化があったことをきっかけに、最近約5年ぶりにあーちに定期的に遊びに行かせてもらっている。久しぶりの再会というものは、私はとても緊張する。きっと、「その人(たち)」と過ごしていたときの自分はどんな自分だったかな?と少し考えてしまうからだと思う。その人と一緒にいたときの自分から変わってたくない自分と、でも変わってほしい(成長してほしい)自分がいて、どんな自分で出会ったらいいのだろうか少し身構えてしまうのだと思う。

…とそんな風に緊張しながら久しぶりのあーちに行ったのだが、「どんな自分で…」という私の心配はあっという間にあーちのみんなに吹き飛ばされたのだった。「何なん?仕事クビになったんか?」と町田くん。「クビじゃない!!」と答えるのに何度も聞いてくる。陽ちゃんからは、「〇月△日にダンスをします。あじさいさん出てください。」とホワイトボードに決定事項のように書いたメモとともに発表があった。「陽ちゃん、私参加決定?!(笑)ごめんよ、△日は行けないのよ。」

こんなあーちのみんなとの一つひとつのやりとりが、

懐かしさとともにとても暖かくすーっと私の中に入ってきた。私の心配を吹き飛ばしてくれたのは言葉だけではない。私の顔を見てにやっと笑い、そしてまた目をそらす真実ちゃん。「久しぶり」と挨拶をすると手を握り返してくれる裕くん。新しいあーちの仲間が増えていたり、小学生だった子が中学生になっていたり、もちろんたくさんの変化もあったのだが、みんな私が何者であるかというよりも、目の前にいる「私」を捉え、そして関わってくれる。だから私もそのまま「私」として応答するのだと思う。

大学を卒業後は、支援者という立場で障害のある子どもたちと関わる仕事をしているが、あーちに中々来ることができなかった間も、あーちのみんななどの日々を思い出していた。思い出す時間をつくるようにしていた。支援者としての自分の役割があり、だからこそ視点や願いがあり、見えてくるものがあつたりする。しかし一方で、やっぱり、あーちにあるような「わたし」と「あなた」の関係が私の大切な原点だと思う。

あじさい

※文中の名前はすべて仮名です。(次回9月号に続く)